

政務活動報告書

議員名 播磨博一

実施した政務活動の内容	<input type="checkbox"/> 研修 <input checked="" type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	平成元年6月26日(水) 午前・午後 時～ 平成元年6月28日(金) 午前・午後 時～	
場所	鳥取県琴浦町、境港市、智頭町	
主催区分	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他()	
同行者名	塩田勉、佐々木喜一、寿松孝、佐藤誠洋	
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	別紙のとおり	
		経費合計
実施概要と所感	別紙のとおり	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2(往復)でご記入ください。距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。

会派さきがけ＋1名 研修報告書

研修場所 鳥取県琴浦町・境港市・智頭町
研修内容 琴浦町 予約型ことうらバスの運行について
(スクールバスの活用)
境港市「水木しげる記念館」の現状
智頭町 疎開保険について
智頭町百人委員会について

参加者名 塩田 勉、佐々木 喜一、播磨 博一、佐藤 誠洋、寿松木 孝

研修日程 令和1年6月26日(水)～28日(金)

26日

秋田空港 - 羽田空港 - 米子空港 - 琴浦町 - 米子市内泊

26日

ホテル - 境港市「水木しげる記念館」 - 鳥取市内泊

27日

ホテル - 智頭町 - 鳥取空港 - 羽田空港 - 秋田空港

研修経費

*内容は別紙

合 計 369,730円 ÷ 5人 = 73,946円

一人当たり負担金 73,946円 以上の通り報告致します。

令和 1年 月 日

播 磨 博 一



[別紙]

月 日	金 額	適 用
6月20日	347,400	旅費(航空機・宿泊代・レンタカー代含む)
6月26日	1,080	高速代(ETCのため領収書なし)
	5,000	1,000X5 琴浦町研修資料代金
6月27日	3,500	700円 X5 水木しげる記念館入館料
6月28日	5,000	1,000X5 智頭町研修資料代金
	5,140	レンタカーガソリン代
	1,530	秋田空港駐車料金
	1,080	高速代(ETCのため領収書なし)
合 計	369,730 円	

1. 琴浦町 予約型ことうらバスの運行についての経緯

○運行事業者からの事業撤退の申し入れ

琴浦町では昨年度まで路線バス、デマンド路線、スクールバスの運行をバス、タクシー事業者に委託契約を行っていたが、昨年8月に受託していた全ての事業者から平成31年度以降事業を撤退したい旨の申し入れを受けた。

その後、これまでの業者との協議を継続しつつ新たな委託先も検討したところ一路線を除いて委託することとした。

○デマンド路線とスクールバスとの混乗の検討

委託先の決まっていないデマンド路線は、スクールバスと経路が重複していたため、混乗による運行が可能かの検討を行った。

デマンドのこれまでの乗車実績から、スクールバスの定員には余裕があることから混乗が可能であったことから、運行ダイヤをスクールバスに合わせることで効率的な運行が可能と判断し、スクールバス運行予定事業者と交渉し受託の意向を確認した。

○実際の運用に際し…

上記の検討結果を受け教育委員会との調整を経て、保護者への説明と同意を得た。また、スクールバスを活用するため承認申請など様々な手続きを経て実施となった。

*所 感

市議会においてもこれまで何回かスクールバスの活用について提案、議論をしているところであった。が当局との認識の差は大きかったと思う。この度の研究ではその差を埋めることが出来るのではないかという感触を得ることが出来た。スクールバスの有効活用につながるよう提案していきたいと考える。

2. 境港市「水木しげる記念館」の現状について

平成15年にオープンした水木しげる記念館、数年前にもこの記念館を視察したが、その時点ではゲゲゲの女房の放送後だったこともあり、それなりの賑わいを感じた。ただ、これらの施設はリピーターの確保が難しいとも言われていることもあり、その後の状況を確認すべく来館してきました。

施設の方の話では、平成29年～30年にかけて水木しげるロードや記念館、鬼太郎列車のリニューアルなどの効果もあり、来館者数は若干の伸びがあるとの内容でした。



*所感

訪問したのが平日だったこともあり、通りも含め観光客などは少なかった。施設の職員や近隣のみやげ屋に話をうかがうと一時のような賑わいではないという。

クルーズ船が入港した時はそれだけの客が期待できるものの逆に落差も大きく感じるという話もあった。

広域的な取り組みより一施設、一地域だけの取り組みでは限界もあると感じた。

3 智頭町「疎開保険」・「百人委員会」について

智頭町で展開している疎開保険は、災害を切り口とした地域間交流や地域おこしも視野に入れた事業だった。

地震などの災害が発生した場合に疎開していただき1泊3食7日間の生活を保障する仕組み、保険代金は一人10000円/年、ファミリー3~4人コースが20000円で加入できるとのことで、現在150名ほどの加入実績との事であった。

また、百人委員会については、高校生以上の町民や町内に勤務をされている方々を委員とし、7つの部会に分かれて所属していただき政策提案をし、町長等と予算交渉を経て議会が審査する仕組みで地域の声をダイレクトに反映させる仕組みであった。

*所感

町の面積の98%を山林が占める地域柄。昔から林業が盛んな所である。また瀬戸内側と太平洋側との交通の要衝である。地域間交流を主目的としている疎開保険だが見方を変えれば小さくは納税の要素も含まれる制度にも見える。加入者に農産物を送るなどは返礼品の要素もあるのではないかと考える。

町民から幅広く意見を聞いて審査の上採用されれば事業費補助など事業化できる制度。特に力を入れて説明があった「森のようちん」は興味深い取り組みと感じた。

横手は自然いっぱいである。さまざまな工夫をすれば取り組める内容、仕掛けもできるのでいいのかな

